

やんばらあ〜ねっと 2016年4月 第35号

ないよう 内容

おきなわ しょうがいしゃさべつかいしょうほうせこう いわ ぱれーど
沖縄・障害者差別解消法施行を祝うパレード

しみんこうりゅうふおーらむ まっとじょうえいかい
市民交流フォーラム Matto 上映会

へいせい ねん がつ たち せこう さべつかいしょうほう ぜんこくかくち しょうがいしゃ
平成28年4月1日に施行された差別解消法は全国各地の障害者の

きたい おお さべつかいしょうほうせこう いわ ぱれーど ぜんこくかくち おこな
期待が大きく、差別解消法施行を祝うパレードは全国各地で行われており、

おきなわ へいせい ねん がつ たち けんない しょうがいしゃ しえんしゃ やく にん
沖縄でも平成28年4月1日に県内の障害者や支援者ら約200人が、

なはし こくさいどお ぱれーど さべつかいしょうほう せこう いわ ぱれーどいんおきなわじっこう
那覇市の国際通りでパレード(差別解消法の施行を祝うパレードin沖縄実行

いいんかいしゆさい せこう いわ けんちようまえ ひら しゅうかい しょうがい
委員会主催)し、施行を祝いました。県庁前で開いた集会では「障害のあ

ひと ひと とも こえ あ さべつ しゃかい じつげん うった
る人もない人も共に声を上げ、差別のない社会を実現しよう」と訴えました。

じよじよ しょうがい りゆう さべつ しゃかいさんが じゅうじつ
これから徐々に障害を理由とする差別がなくなり、社会参加しやすく充実させた

せいかつ しゃかいせいかつ おくすべ ひと でき きたい どうじ
生活を、社会生活を送る全ての人が出来るように期待すると同時にこれからも

かつどう がんば おも
活動を頑張っていきたいと思ひます。

さんかしゃ おも ぷらカード ふうせん か しょうがい りかい ひろ
参加者は、それぞれの思いをプラカードや風船に書き「障害への理解を広げよう」、

くるま の こうきょうこうつうきかん つか とも いっしょ ちか がっこう い
「車いすに乗っているけど公共交通機関を使って友だちと一緒に近くの学校に行

きたい、「教育や社会参加をやりようと思っても出来ないことが多くあった」などと書いた

ぷらカード も まきしこうえん けんみんひろば ある
プラカードを持ち、牧志公園から県民広場まで歩きました。

ほうりつ ふとう さべつてきと あつか きんし くち ちほうじちたい みんかん
この法律の、【不当な差別的取り扱いの禁止】は、国や地方自治体のほか民間

きぎょう ごうりてきはいりよ ていきょう がっこう しょくば まち しょうてん
企業にも及び、【合理的配慮の提供】についても学校や職場、街の商店、

ぼらんていあかつどう だんたい ひろ かんけい こうてききかん ぎむ みんかんじ
ボランティア活動をする団体まで広く関係し、公的機関に義務を民間事

ぎょうしゃ どりよくぎむ か
業者には努力義務を課しています。

こんかい じっこういいんかい かいさい ぱれーど ちいき かた ほうりつ ひろ
また、今回の実行委員会で開催したパレードみたいに地域の方にこの法律を広

つた けいはつかつどう い じゅうよう かだい おも
く伝えていけるように啓発活動を行っていくことも重要な課題だと思えます。

じっこういいんちよう たかみねゆたかし けんみんひろば おこな しょうかい
実行委員長の高嶺豊氏は県民広場で行われた集会で

ほうりつ こくみん じゅうぶん りかい しょうがい ひと けんり まも よ なか
「法律が国民に十分に理解され、障害のある人の権利が守られる世の中にし

うった
ていこう」と訴えました。

ねん ひじゅん しょうがいしゃけんりじょうやく はいけい しょうがい ここ しんしん
2014年に批准した障害者権利条約の背景には、障害は個人の心身

きのう もんだい しゃかいてきしょうへき だ かんが かつ
機能の問題ではなく、社会的障壁によって作り出されるという考え方があり、そ

もと しゃかい なか ばりあー と のぞ ごうりてきはいりよ ていきょう きてい
れに基づき、社会の中にあるバリアーを取り除くための合理的配慮の提供が規定
されました。

たと くるま りょうしゃ りゆう いんしょくてん にゆうてん こわと ふとう
例えば車いす利用者であることを理由に飲食店への入店を断るのは不当な

さべつてきと あつか たても の ばりあふりーか むずか けいたい
差別的取り扱いにあたり、建物のバリアフリー化はすぐには難しくても、携帯

すろーぷ と つ てんいん くるま も あ いりぐち だんさ の こ かのう
スロープの取り付けや、店員が車いすを持ち上げ入口の段差を乗り越えることは可能で

はいりよ ごうりてきはいりよ ていきょう
あり、そういった配慮をすることが合理的配慮の提供になります。

ごうりてきはいりよ ことば むずか き はいりよ しょうがい も ひと
合理的配慮という言葉は難しいですがちょっとした気づきや配慮で障害を持つ人

こんなん へ でき こま ひと ゆうき し
の困難を減らすことが出来ます。もし困っていらっしゃる人がいれば勇気があるかも知れませんが

せっきよくてき こえ おも
積極的に声をかけてほしいなと思います。

しょうがい も わたしたち こま こと こえ おも とき
また障害を持っている私達も困った事があれば声をかけると思っています。その時は

とうじしゃ こえ みみ かつむ
当事者の声に耳を傾けてほしいです。

く いんくるーしぶしゃかい つく
みんなが暮らしやすいインクルーシブ社会をみんなで作っていきましょう。



がつ にち どうよび おきなわしのうみんけんしゅうせんたー しみんこうりゅうふおーらむ
1月30日（土）に沖縄市農民研修センターで市民交流フォーラム「〜ど

しょうがい ちいき く いたりあ せいしんびょういんへいさ にゆうしよしゃ
んな障害があっても地域で暮らしたい！イタリアの精神病院閉鎖と入所者の

ちいきこう まな いべんと じっこういん けっせい おこな
地域移行から学ぶこと〜というイベントが実行委員を結成して行われました。

いべんと ないよう まつと まち せいしんびょういんしゅうよう
イベントの内容は【むかしMattoの町があった】という精神病院収容をなくし、

せいしんしょうがいしゃ にんげん ふっけん ぜんしんぜんれい ささ
精神障害者の「人間らしさ」の復権に全身全霊を捧げ、

せいしんほけんふくしかいかく さいしよ ねん ぶんこ ばざーりあ かつやく えが えいが
精神保健福祉改革の最初の20年とフランコ・バザーリアの活躍を描いた映画の

じょうえいかい せいしんしょうがいとうじしゃ ちゅうしん せいしんしょうがいとうじしゃ じっさい
上映会と精神障害当事者を中心に精神障害当事者と実際に

いたりあ せいしんびょういん けんしゅう い かた とうじしゃ しゅうろう
イタリアの精神病院だったところに研修で行った方と当事者でもありながら就労

けいぞくしえんびーかたじぎょうしょ だいひょう かた めい どうだんしゃ かいじょう
継続支援 B 型事業所の代表をしている方5名の登壇者が会場の

さんかしゃ まじ くろすでいすかつしよん おこな
参加者を交えたクロスステイスカッションを行いました

わたし こんかい まっと まち えいが はじ み ねたばれ
私は今回【むかしMattoの町があった】という映画を初めて見ました。ネタバレにならな

ていど かんそう か むかし にほん いま くに せいしんびょういん
い程度に感想を書くと、昔は…（日本では今もかな）どの国の精神病院も

にゆういん かんじゃ たい じんけん な こうそく かくり ぎやくたい にちじょうてき
入院している患者に対しての人権は無く拘束・隔離・虐待が日常的に

おこな か てんかい はや ふらんこ ばざーりあ
行われているということが描かれていて展開はかなり早いのですがフランク・バザーリアの

くろうくのう ちょうせん えが しょうげき う おも わたし
苦労苦悩や挑戦が描かれています。初見の方は衝撃を受けますと思います。私

しょうげき う れつあく かんきょう な か
が衝撃を受けたところはどんな劣悪な環境でも慣れてしまうということを描いているところ

みじか はなし るいはん い さいはん く かえ けいむしょ しゅうよう
で、身近な話だと累犯と言われる再犯を繰り返して刑務所に収容される

じゆけいしゃ せいしんびょういん ちょうきにゆういん ねんいじょう ひと
受刑者や精神病院に長期入院（それこそ10年以上とか）している人の

ちいきいこう すす なか たいいん きよひ しせつしょう かたなど
地域移行を進めていく中で退院を拒否するいわゆる施設症の方等がありますが

にんげん れつあく かんきょう てきおう ないがし
【人間はどんなに劣悪な環境でも適応してしまう】ということを蔑ろにしていると

おも はんめんこわ おも
ころがすごいなと思う反面怖いなと思いました。

くろすでいすかつしょん せいしんいりょう もんだいてん いたりあ にほん ちが まいのりていー
クロスディスカッションでは精神医療の問題点やイタリアと日本の違い、マイノリティー

わる まいのりていー う い しゃかい わる など はな あ
が悪いのかマイノリティーを受け入れない社会が悪いのか等が話し合われました。

くろすでいすかつしょん よ どうじやしゆたい たいわ おこな でき
クロスディスカッションで良かったところは当事者主体の対話を行うことが出来たところで

かいぜんてん くろすでいすかつしょんしんこう とどこお
改善点はクロスディスカッション進行が滞りがちだったところです。

どうじやしゆたい げんざい にほん せいしんいりょう たい もんだいていぎでき
それでも、当事者主体で現在の日本の精神医療に対して問題提議出来たの

よ たほうこう してん ろんぎけんとう ひつよう おも
は良かったことで多方向の視点からこれから論議検討する必要があると思います。

せいしんほけんふくし まな せいしんほけんふくしし ぴーえすだぶりゆー めざ
また、精神保健福祉を学び精神保健福祉士（P S W）を目指している

がくせい さんか よ どうじやしゆたい かつどう
学生がたくさん参加してくれたのはとても良かったことで当事者主体の活動をしている

せいしんしょうがいどうじしゃ なに かん なに かんが し でき おも
精神障害当事者が何を感じ、何を考えているのか知ることが出来たと思いま

す。また、たくさんの人に疑問を投げかけ一緒により良い方法を考えていきたいなと思
います。

まっと まち じょうえいじょうほう にん まっと かいほーむぺーじ
【むかしMattoの町があった】の上映情報は180人のMattoの会ホームページに

じょうほう あつぷ
情報がアップされています。

ぜひ ひと えいが み おも
是非たくさんの人にこの映画を見てほしいなと思います。

おきなわ ちよっきん じょうえい へいせい ねん がつ にち めいおうだいがくさくらむ
沖縄での直近の上映は平成28年5月28日に名桜大学サクラム

こうぎとうえー
講義棟 A であるようです。

にん まっと かい けんさく ほう ねが
【180人のMattoの会】で検索の方お願いします(^^)

